南信州

発行所
南信州新聞社
〒395-0152 飯田市育良町2-2-5
電話（0265）代表㉒3734
編集㉒0704 FAX㉓7072
営業㉒0352 FAX㉔0537
出版㉒3732 FAX㉓7072
振替口座 00590-0-3452

全国新酒鑑評会
平成21酒造年度 金賞受賞
純米 信濃鶴
駒ヶ根市 長生社醸

## 9月に着工

# 住民と協働で遠山川整備

## 下伊那南部建設事務所　いい川づくり会議を常設化

飯田市南信濃地区を流れる遠山川の河川整備計画をめぐり、県下伊那南部建設事務所（田代幸雄所長）は5日、同地区で説明会を開いた。最大課題の河床回復については、課題に応じた工法などを解説。昨年に住民の代表者を交えて意見交換を重ねた「遠山郷いい川づくり会議」の常設化構想を伝えた。5カ年計画とし、今月から順次着手する。

南信濃で開かれた説明会

多自然の川づくりや地域の特色を生かした河川改修を目指し、モデル事業に指定して進める県の「信州のいい川づくり」の一環。地域の代表者ら19人の委員と、関連機関のアドバイザーらが昨年11月から6回にわたって意見交換を重ね、▽河床の安定▽高水敷の確保と水際の活用▽自然と景観の保全―を柱とする計画を策定した。

説明会には会議のメンバーを中心に22人が出席。これまでの経過や同事務所が行った詳細設計の概要を聞いた。

河床低下について同所は、遠山中学校付近、中橋付近で行う帯工や護岸への根固めブロック設置を例に課題を挙げながら想定される工法を紹介。景観保全や親水性の強化に向けて計画している高水敷の確保は、出水時も視野に入れ、コンクリート構造の中心部を自然石やコンクリートなどで覆う隠れ水制を設置する考えを伝えた。

同所はまた、いい川づくり会議が掲げた「人・自然・文化のハーモニー」奏でつづける遠山川」の実現に向け、「目標を共有してともに力を合わせて活動することが重要」として同会議の常設化を提案した。

景観の維持や管理、河川の里親制度（アダプトプログラム）への登録、モニタリング、施設などの点検、修繕などについて連携する組織で、「ハードとソフトの両面で持続性のある取り組みをしていきたい」と強調。住民らも応じる姿勢を示した。

遠山川はかつて、狭い川幅で和田地区を蛇行しており、昭和30―40年代には大きな災害を繰り返した。三六災害以降の改修で現在は堤防の間を直線的に流れているが、河床低下が深刻で、地元からは三遠南信自動車道の開通などを見据えて、親水性を得られる改善を求める声が出ている。

同所は河床回復や親水性のある高水敷の回復を目指し、今年度からの5カ年計画で工事を展開。総工費1億5000万円を想定し、今月の発注から段階的に実施する。

完成後のイメージ

# 代替地は地区内で配慮

## リニア整備住宅移転　市長「行政も手立て」

飯田市の牧野光朗市長は6日の定例会見で、リニア中央新幹線の整備に伴い見込まれる住民の移転代替地について「他地区へ移転せざるを得ない状況は避けたい。なるべく近くへ入ってもらうことを、市としても当然考えていかねばならない」との見解を示した。

JR東海は今秋に環境影響評価準備書の公表を予定し、3キロ幅と直径5キロ円で示してきたルートと駅位置の詳細も明らかにする。駅位置については、同市内では座光寺・上郷地区が対象範囲に当たる。

リニア駅整備などに伴う住宅などの移転代替地の確保に関して牧野市長は「地域振興や定住促進策を進める一方で、開発のために離れていくようなことがあってはおかしい。地区内に住んでもらえる手立てを行政としても講じたい」と指摘。ただし、具体的な代替地に関しては「該当が何戸になるか分からない段階では検討は難しい」と述べるにとどめた。

準備書公表を受けての市のリニア推進ロードマップの具体化に向けては「第一の柱である本体工事にかかる駅位置やルートの詳細が明らかになれば、（行政が担うべき）社会資本整備や戦略的地域づくりへと進める。公表内容のパターンも想定しつつ、なるべく早く方針なりを発信したい」と述べた。

## 準備書に備え　大鹿村で講座

JR東海のリニア中央新幹線整備計画で、準備書公表を前に、大鹿村の住民らでつくる「大鹿の100年先を育む会」は7日、講座「準備書の読み方と有効なパブコメの書き方」を同村鹿塩地区館で開く。講師は日本自然保護協会の辻村千尋さん。入場料は500円。午後7時から。

## 大鹿村

# EV充電器を1基整備

## 普及受けて「観光客の安心に」

電気自動車（EV）やコンセントから充電できるプラグインハイブリッド車（PHV）の普及を受け、大鹿村は、充電設備を村役場駐車場に整備する。関連予算を盛った本年度一般会計補正予算案を9日開会の村議会9月定例会に提出する。

計画によると、急速充電器を役場駐車場の南側に1基置く。工事費は約1300万円。新設する場合、国から設置費用の3分の2の補助が受けられる。

同村は年間を通じて多くの観光客が訪れる。最近では、大鹿歌舞伎を題材にした映画「大鹿村騒動記」でも注目を集め、春、秋の歌舞伎の定期公演などを目当てに多くの人が足を運ぶ。

EVやPHVの日常的な充電は、家庭や職場で通常の電源から夜間に長時間充電することで足りるが、長距離を運転する場合は途中で充電が必要な充電器が求められている。

そのため村は、長距離走行時の電池切れを懸念。周辺には充電設備がなく今回、国の補助制度「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」を活用して整備することにした。

地球温暖化の防止に向けた二酸化炭素（CO2）削減のため、EVなどへの関心は高まるばかり。柳島貞康村長は「設置費用がかさむ充電インフラを村として整備することで、県外から訪れた人たちに安心して観光してもらいたい」と話した。

## 南信州新聞社特別ツアーのご案内

### 一生に一度は行きたい世界遺産　高野山　巡礼の旅

南信州新聞社は「和歌山県、高野山を訪ねる1泊2日の特別ツアー」をご案内します。

弘法大師空海が開いた真言宗の総本山を2日間の日程で参拝。地元専門ガイドの案内にて座主の住寺の金剛峯寺や弘法大師の御廟と灯籠堂がある奥之院、曼荼羅の思想に基づいて創建された壇上伽藍など山内の霊場をめぐります。

宿泊は高野山の宿坊にて。また、希望者には有料にて朝のお勤め・写経・阿字観もできます。古代より神々が宿る霊場を訪れ五感を満たす一生に一度は行きたいお勧めの旅です。

【日程】10月27日記

## 健康増進、食生活改善

### 県飯田保健福祉事務所　普及月間

県飯田保健福祉事務所は、今月の「健康増進普及月間」と「食生活改善普及運動」を推進するため、地域住民の健康増進と食生活改善に向けた普及啓発を実施している。

3日から30日まで飯田合同庁舎1階玄関ホールに「健康に関するコーナー」を設置。啓発

## きょうの紙面

2 リニア見据えた基本方針提出
3 フェスタスタンプラリー贈呈式
4 各地で作品展
5 鼎地区縦断駅伝大会特集
8 富草小がダイコン種まき
9 市がいじめ対応マニュアル作成